

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協立いつくしみの会	代表者	石山 健治
事業所名	小規模多機能ホーム かりぷ	管理者	松田 梨香

法人・事業所の特徴	サービス付き高齢者住宅とデイサービスが併設し、隣には小学校があります。家庭的な雰囲気の中、一人一人の出来る事に注目し、個々に合わせたケア、レクリエーションを提供しています。季節を感じる外出や夏は畑で野菜を育て収穫し、職員と一緒に調理する取り組みをしています。
-----------	---

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	1人	4人	1人	1人	人	2人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			全職員が事業所評価に取り組んだことが確認できた。	
B. 事業所のしつらえ・環境			不快な音、臭いはなく、居心地も良い。玄関のドアが重く開けるのが大変なのでチャイムを外玄関に取り付けて欲しい。日中、鍵をしていないので防犯上の対策にも関心がある	玄関の中チャイムを外玄関に取り付けます
C. 事業所と地域のかかわり	地域からどのような事業所か理解してもらうため介護相談会や事業所見学会を開催します	ケアセンターかりぷ・上野幌の夏祭りを企画し地域の方に協力、参加いただきました。介護相談会は11月に企画しています	挨拶はしてくれる。地域のイベントや行事にも参加している。	地域の行事へ参加や、行事・学習会を企画し、地域の方との交流の機会を作ります。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域の高齢者からの相談窓口となれるよう介護相談会を企画します	地域の方の相談、見学があり、都度対応し利用に繋がっています。介護相談会は11月に企画しています	地域行事への参加や上野幌西小学校、上野幌児童会館との交流が持たれている。	
E. 運営推進会議を活かした取り組み			運営推進会議を2ヶ月に1回開催しており、事業所の取り組み報告や町内、予防センターから地域の状況が報告されている。	
F. 事業所の防災・災害対策	災害時に必要な備品の整備を行います	オール電化のため停電に備え、石油ストーブを準備しました。今後も計画的に備品の整備を進めて行く予定です	防災設備は整っているのですが、実際の災害時に、どのように連携しながら行動するか机上訓練含めて実地したらよい	計画的な備品の整備、ケアセンターかりぷ上野幌全体での訓練を行います。